

今月号のキーワード | 世界の教育市場に貢献する日立ソフトの電子黒板「StarBoard」

## 特集

### 教育現場への電子黒板の更なる普及へ！

日立ソフトの電子黒板「StarBoard」は世界の教育市場で幅広く活用されています。この度のニュースレターでは、電子黒板を更に普及させるべく展開している学校ICT環境整備事業対応への取り組みや、海外での実績をご紹介します！

Topics | 日立ソフトが地域の障がい者就労施設による特設販売会を開催

お知らせ | ケンブリッジ日立ソフトの設立記念の桜が育ちました！

## 特集

# 教育現場への電子黒板の更なる普及へ！ 学校ICT環境整備事業に対応し、教育界へアプローチ



真山 美樹 Mayama Miki

公共社会システム事業部  
第2公共システム本部

2009年6月より学校ICT「StarBoard」  
拡販プロジェクトの取り纏めを担当。  
9月には開発リーダーとして「スタボひろ  
ば」を立ち上げる。

山田 一郎 Kazuo Yamada

IMS本部 営業部

2007年から企業および文教市場向け  
に「StarBoard」の拡販を担当。  
学校ICT環境整備事業に対応した  
全国の小中学校・自治体向けにPR  
デモを行っている。

2009年度には、学校ICT環境整備事業に対応した「StarBoard」の提供を進めていますが、欧米に比較すると日本の教育現場での電子黒板の普及はまだこれからだと言えるでしょう。教材やPCの画面をボード(板面)に投影して表示し、そのまま書き込みができる電子黒板は、直観的な授業を促し、生徒の理解力向上に貢献できるツールです。電子黒板のメリットをより多くの方に知ってもらうよう現在も各地でデモを実施しています。

\*富士キメラ総研調査「2010情報機器マーケティング調査総覧(下)」によるメーカー別市場占有率 国内市場トータル2008年度(数量、金額)です。

### ■ユーザの声を製品作りに反映

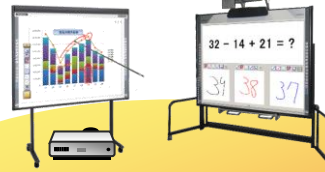
1998年の発売以来、日立ソフトのインタラクティブ電子ボード「StarBoard」は学校のICT授業やプレゼンテーションで使用する次世代ツールとして、全世界で累計70カ国以上、約12万台の販売実績があります。日本国内での販売実績は12,000台となっております。またシェアでは1位\*となります。

### ★ 体育館や講堂で



大人数向けに既存のテレビや  
スクリーンに表示したい  
■ タブレット型(T-17SXLG)

### ★ 教室で



黒板と同じように書き込みをしたい  
■ ホワイトボード型(FX-DUO, FX-TRIO)

### ★ 複数の教室で



電子黒板を移動して利用したい  
■ ユニット型(FX-Portable)

小学校、中学校、高等学校

図1: StarBoard利用シチュエーション

今年度は学校ICT環境整備事業により、教育委員会や学校の先生の前で「StarBoard」のデモを行う機会が多く、そのお陰で教育現場からの様々な意見や要望を直接聞くことができています。3人同時書き込みを実現する製品「FX-TRIO」やファンクションボタンを両側に設置したモデル(写真1)は、

ユーザの意見が製品へ反映された例です。また「StarBoard」を導入した学校の先生からは、「授業で書き込んだ画面を【写真1】プラズマ型(両ボタン)ファイルに保存できるので、次回の授業で使用するだけでなく、過去にどんな授業をしていたか調べることも可能になり、とても便利」、「電子黒板を使用している時には、生徒の集中力が向上する」などの評価を得ています。



### ■海外リソースセンターを参考に「スタボひろば」を開設

電子黒板が学習効果を高めることに有効であると評価される一方で、実際の教育現場では電子黒板がなかなか活用されていないことが新聞やテレビなどで報道されています。そこで電子黒板をより一層効果的に活用してもらえよう、2009年10月28日に、教材部品の提供や活用事例の紹介などの場として、電子黒板専用コミュニティサイト「スタボひろば」を開設しました。(図2) 海外では、ハードウェアだけでなく

コンテンツ提供サイトも併せて提供することで、ユーザが電子黒板を有効活用できると認識されており、そのようなサイトは「リソースセンター」として既に浸透しています。また、海外のサイトでは、掲示板が開設されており、ユーザが積極的に参加し、教材コンテンツや電子黒板の効果的な使用方法について活発な意見の交換が行われているのが特徴です。

日立ソフトの「スタボひろば」も海外リソースセンターを参考に、Twitterを開設し、お知らせ掲示板も準備しており、こちらからの情報発信のみではなく、先生方からの意見をいただく場、情報交換の場としても発展させていきます。また、コンテンツに関しては、英国ケンブリッジ大学出版との合弁会社「Cambridge Hitachisoft Educational Solutions社」(以下C-H社)で開発してきたものを今後提供していきます。将来は、海外のコンテンツの提供だけでなく、日本のコンテンツを海外へ提供することや、中国、インドなどコンテンツ提供サイトの未開設地域にも、グローバルサイトの開設を考えています。

「スタボひろば」を開設後、「StarBoard」に関する問合せ件数が約5割増加しており、電子黒板に対する関心が高まってきていると考えています。一層多くの方に電子黒板のメリットを理解していただき、授業の場に活用していただけるよう、これからも「スタボひろば」の充実・活性化を図っていきます。



図2: 「スタボひろば」画面



## ■世界の教育市場に貢献する「StarBoard」

「StarBoard」は、世界各国の幼稚園から大学まで幅広く導入されています。(図3)

### <EMEA(欧州、中近東、アフリカ)での状況>

なかでもロシア、サウジアラビアなどの産油国へは数多くの販売実績があり、継続的に受注があります。また、販売エリアも世界中で着実に広がってきており、専用ソフト(StarBoardソフトウェア)がサポートする言語は年々増加しています。

サウジアラビアでは、公立小中学校3万校にICT機器を導入する計画(Tatweer School Project\*)が進んでいます。サウジアラビアは特殊出生率が3.17で多子若齢化が進んでおり、このため、生徒の急速な増加に合わせて、学校の新設増設や教員の増員と合わせて、電子ボードと電子コンテンツを活用した授業の実現を目指しています。Tatweer School Projectの第1フェーズとしてモデル校30校が1000台の電子ボードを導入しましたが、この時に採用された製品が「StarBoard」でした。現在、既にアラビア語対応は完了しており、モデル校での評価に基づき、製品の改善を進め今後の拡販につなげていきます。

\*サウジアラビア教育省の下にある、公立の全小中高校の教室すべてにICT機器を導入するプロジェクト

### <米国での状況>

景気後退、ドル安といった厳しい状況にも関わらず、販売台数は対前年度比で50%以上増加しています。また、他エリアに先駆けて現地の教育分野に特化した教材集の提供を行っています。

### <アジア・オセアニアでの状況>

オーストラリア国内では販売台数、シェア共に増加傾向であり、現在シェアは3位ですが、2位とは僅差になっています。また、シドニーにあるオーストラリア最大の博物館のPowerhouse Museumが「StarBoard FX-DUO」を設置し、同所を訪れる学生たちに「StarBoard」を体験する場を提供しています。

中国では大手学習塾Ladder社と協業し、「StarBoard」とコンテンツを一体にした販売を推進しています。Ladder社は富裕層向け幼稚園をチェーン店化し、若年層からの英語教育を進めています。中国の一人っ子政策のため、富裕層は1人の子供に対する教育費を惜しまないという傾向があり、子供達が英語を楽しく学べる「StarBoard」とLadder社の英語教育用コンテンツはこのような家庭のニーズにマッチした製品として人気があります。

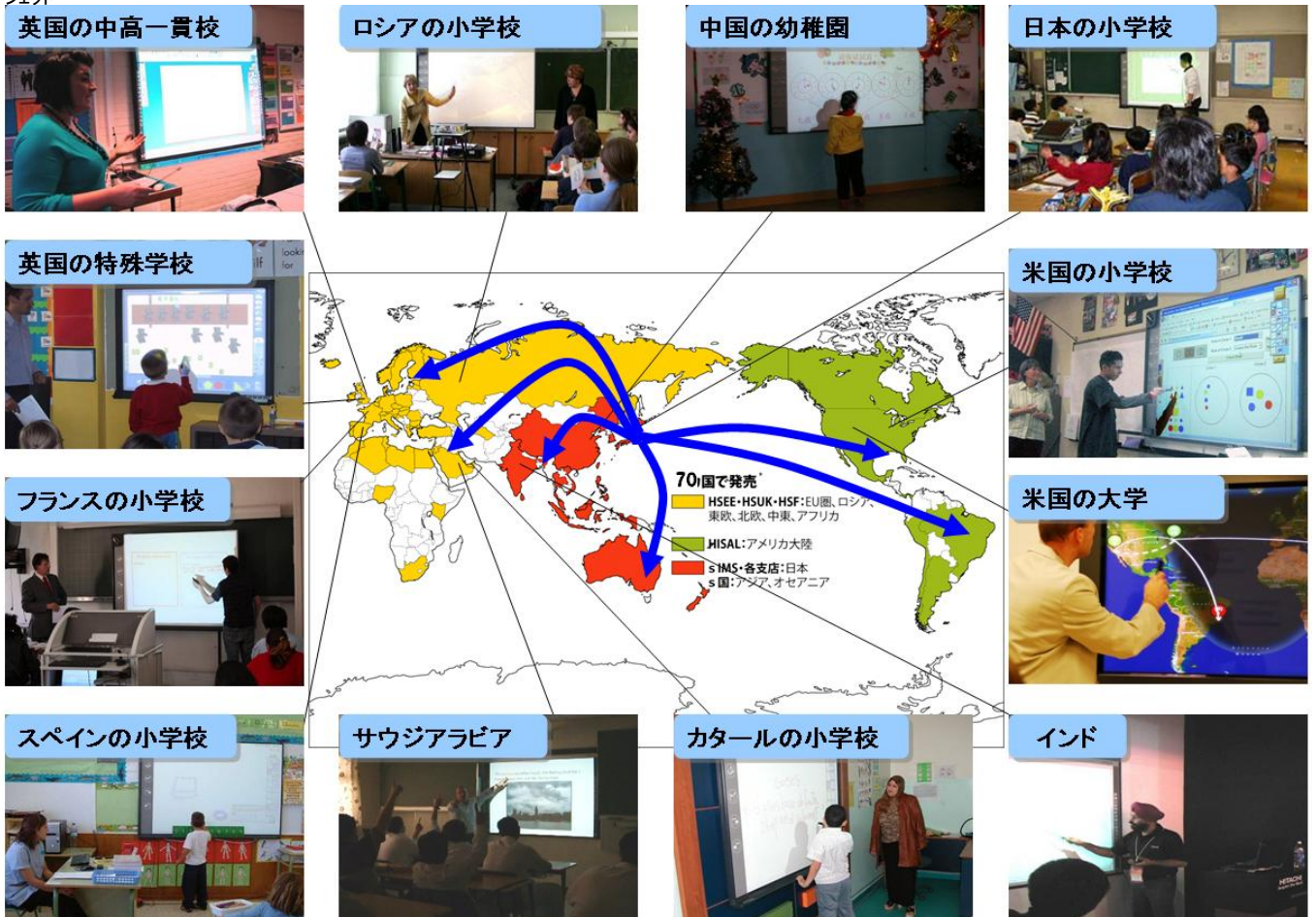


図3: 世界の教育現場で役立つStarBoard

# 最近のニュースリリース

当社の最新およびこれまでのニュースの詳細は、当社ホームページのニュースリリース

<http://hitachisoft.jp/News/index.html>にてご覧頂けます

## ■日立ソフトがクラウドサービス「SecureOnline」上でスケールアウト技術を開発

当社の「SecureOnline上」で動作する、サービス基盤技術(スケールアウト)を開発し、社内の14業務システムを対象に本番運用を開始しました。

## ■日立ソフトがゲーム業界向けのクラウドサービスを提供開始

本サービスにより、オンラインゲーム業界の課題であった、適正な状態でのサーバ運営および無駄なコストの軽減が可能になります。

## ■コールセンターソリューション「CallFrontier X」に新機能

モバイル連携をマルチキャリア対応へ拡大し、コールセンターとフィールド担当者との密接な情報連携を可能にしました。

## TOPICS

### 日立ソフトが地域の障がい者就労施設による特設販売会を開催

日立ソフトのCSR活動の一環として、障がい者就労施設の自主製品特設販売会を「1Day Shop(ワンデイ・ショップ)」と題し、東品川本社内で2009年11月6日に開催しました。「1Day Shop」は、障がい者就労施設で商品製造を行っている障がい者の方々を支援し、社会福祉における貢献を果たす目的から開催したものです。当日は、有名デザイナーとコラボで製作されたバッグをはじめ、厳選素材を使用した焼き菓子など、さまざまな商品が販売されました。



## お知らせ

### ケンブリッジ日立ソフトの設立記念の桜が育ちました！

ケンブリッジ大学出版局と日立ソフトは、ハードウェアとソフトウェアを統合し、e-Learning ソリューションにおいて提携することを2003年11月に発表しました。両社は、合弁会社「ケンブリッジ日立ソフト・エジュケーショナルソリューションズ社(C-H社)」を設立したのですが、当時日立ソフトの会長、川村隆(現日立製作所社長)がケンブリッジ大学植物園にC-H社設立記念にと桜の木を植樹しました。下の写真は当時のものです。植樹した桜の木は現在では数メートルに育っています。C-H社Web: <http://www.cambridge-hitachi.com/>

※左から2人目が会長の川村隆(当時)



|              |  |
|--------------|--|
| 商号           | 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社   |
| 本社           | 〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番7号<br>Tel:03-5780-2111(大代)  |
| 設立年月日        | 1970年9月21日   |
| 従業員数         | 5,492名(2009年9月末)   |
| 売上高          | 1,658億円(連結)(2009年3月期)  |
| 事業内容         | 『システム開発』、『サービス』、『プロダクト&パッケージ』の3つを主な事業領域とし、加えて『情報処理機器』の開発・販売、そしてトータル『システムインテグレーションサービス』の提供  |
| 主要製品・サービス    | 機密情報漏洩防止ソリューション「秘文」、指静脈認証システム「静紋」<br>電子ドキュメントータルソリューション「活文」、インタラクティブ電子ボード「StarBoard」<br>地理情報システム「GeoMation」 統制IT基盤提供サービス「SecureOnline」 他 |
| 認証取得等        | CMMIレベル5(ソフトウェア開発プロセスの能力成熟度モデル統合)、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)、ISO9001(品質マネジメントシステム)   |
| 主な子会社および関連会社 | 日立ビジネスソリューション(株)、日立ソフトシステムデザイン(株)、キャブカード&サービス(株)<br>(株)アイネス、(株)ビジネスブレイン太田昭和、(株)DACs、(株)クラステクノロジー   |

## ■ニュースレター、転載、取材に関するお問い合わせ

Tel: 03-5479-6013 [CSR本部広報・宣伝部: 高野]

E-mail: [press@hitachisoft.jp](mailto:press@hitachisoft.jp)

●記載されている会社および製品名は各社の商標または登録商標です。

発行日 2009年11月24日